

# 職場における交通安全指導

Part 125

【大型貨物車が構内でブレーキ・アクセル操作を誤り倉庫支柱と作業員に衝突】



## ■事故の概要

### ●事故の当事者

当事者A（大型貨物車）：50歳代、男性  
当事者B（構内作業員）：60歳代、男性

### ●被害状況

A：車両リアバンパー損壊  
B：軽傷（頸椎捻挫、右腰部打撲等）

## 事 故 状 況

大型貨物車の運転経験が25年になるベテランドライバーAは、県内の運送会社に勤務し、社内では誰もが認める模範ドライバーであった。

事故当日は、工場から冷凍食品等を積み込んで県内の配送センターに搬送していた。

Aが荷下ろし場所の倉庫内に後退で進入する際、ブレーキとアクセルを踏み間違えてしまい自車が暴走、倉庫の支柱に衝突後、倉庫内で物品仕分け作業をしていたBに衝突し転倒させ軽傷を負わせた。

## 事 故 の 原 因

今回の事故は、睡眠不足で注意力が散漫となり、ブレーキとアクセルの誤操作により自車を暴走さ

せてしまった、過労運転事故の一種です。

Aは、事故前日に夜更かしをしていたため、疲労が蓄積しており、普段より注意力や反応動作が鈍くなっていました。

## 安 全 指 導

過労運転を防止するためには、十分な睡眠と休息をとることが大切です。

睡眠不足で長時間の運転を継続していると、次第に眠気に襲われたり、運転以外のことを考えたりするようになります。

視線は前方を見ているのに頭はボーッとし、他の車両や歩行者の存在に気付くのが遅れ、事故を起こす原因となります。

また、今回の事故は、運転経験が25年のベテランドライバーによるものでしたが、過労運転は運転経験とは関係なく、全てのドライバーに起こりえる問題です。

体調管理を怠り、取引先等の構内で事故を起こしてしまうと、軽微な事故であっても、会社の運転者教育の姿勢やドライバーのモラルも問われ、取引先からの信用・信頼を失ってしまうかもしれません。

常にベストコンディションを保つことは難しい

ですが、日頃からの体調管理を心がけてください。

## 【安全運転のための事故防止策】

### ①体調管理の徹底

ドライバーにとって、体調管理は最も重要です。事故を防止するためには、日常生活で健康管理を怠らないことはもちろんのこと、次のことを習慣にして過労運転の防止に努めましょう。

- 6、7時間の連続した睡眠をとる。
- 栄養価の高い食事をとる。
- 日頃から身体を動かすなど、ストレスをためないようとする。
- 定期的な健康診断を受診する。

### ②疲労サインを理解しましょう。

- しきりにまばたきをする。
- 長時間運転により注意力が低下し漫然運転や居眠り運転に陥る危険がある。
- 運転姿勢をしきりに変える。
- 長時間運転で腰等が疲れている現れ。
- 首をかしげるようになる。
- 肩こりのしるしで、疲労が溜まっている。
- 何事もないのにイライラする。

この様なサインが出たら、早めに休憩をとることを心がけましょう。また、サインが出る前に計画的な休憩をとりましょう。

## 構内事故防止のポイント

構内事故の大半が、いつもと同じで安全と思ってしまう「慣れ」や、下車して周囲を確認せず不用意に後退するなどの「油断」、交通状況やスケ

## 安全推進部からのお知らせ

### 2021年度 交通事故防止セミナー（厚木開催）日程変更のお知らせ

当組合の「2021年度 交通事故防止セミナー（厚木開催）」につきましては、日程変更により「11月25日（木）14時」から「11月24日（水）14時」に変更となりましたのでご案内いたします。

### 「2021年度 交通事故防止セミナー」

新横浜開催	厚木開催
11月17日（水）14時～ 新横浜国際ホテル	11月24日（水）14時～ レンブラントホテル厚木

ジユールなどによる「焦り」から発生しています。  
慣れた構内だからこそ、気を引き締めて運転することが事故防止に繋がります。

## 【構内での後退時のポイント】

- ①後退時は必ず下車して、周囲の安全確認を行う。
- ②バックモニター等の後方安全確認装置を過信しすぎない。
- ③低速で後退する。
- ④ハザードを点灯し、周囲に注意を喚起する。
- ⑤安全確認を確実に行うために、コメントリー運転を実施する。

構内事故は、荷主や取引先からの信頼を失うことに直結してしまうということを念頭に、構内では、「だろう」ではなく「かもしれない」という緊張感を持ち安全運転を心がけましょう。

## ○当組合の構内事故発生状況

区分	構内事故件数	
衝突物	件 数（件）	構成率（%）
車両	262	44.3
構内施設	115	19.5
建物	90	15.3
シャッター	32	5.4
フェンス・網	44	7.5
門柱	20	3.4
その他	27	4.6
合 計	590	100

【2020年度の対物事故発生件数は1,559件】

※構内事故のうち後退事故の割合は51.7%